

HISTORY OF THERMOS

サーモスの歴史

ブランドのスタートから現在にいたるまで、サーモスの技術は一步一步前進してきました。その歩みを紹介します。



1904

● サーマスブランドの誕生

ドイツのベルリンにて、ガラス職人のラインホルト・ブルガーが「THERMOS G.m.b.H. (テルモス有限会社)」を設立。サーモスブランドが誕生。ガラス製魔法びんの生産を開始。

1930



● 暮らしに広がるサーモス製品

1930年には英国王室から「英国王室御用達」であることを示す紋章を自社製品につける権利を取得。このころには世界中で認知され、信頼を獲得。



1950年代

● 戦後には様々なデザインや美しいカラーの製品が多数発売された。特別な環境下ではなく一般の家庭でも人気を博していく。

1978



● 世界初の高真空ステンレス製魔法びん「アクト・ステンレスポット」誕生

世界初の高真空ステンレス製魔法びんを日本酸素株式会社(現:日本酸素ホールディングス株式会社)が開発。このステンレス製魔法びんはガラス製の弱点を克服し、割れない画期的な魔法びんとして、大きな進化を遂げた。

1989

● 日本酸素株式会社(現:日本酸素ホールディングス株式会社)がイギリス、アメリカ、カナダのサーモス事業を買収、世界中のサーモス各社を傘下に収める。以降、魔法びんのパイオニア「サーモス」として、真空断熱を応用した様々なアイテムを提案。

1998

● 業界初! 真空断熱スポーツボトル(FBE-500/700)発売
魔法びんから直接飲むことができる保冷専用の「スポーツボトル」を発売。新しいジャンルの製品を生み出し、いまやスポーツシーンには欠かせないアイテムとして愛用されている。



1999



● 初代真空断熱ケータイマグ(JML-351F)発売

サーモスの定番アイテム「ケータイマグ」の初代製品。冷たい飲みものも温かい飲みものも直接口をつけて飲めるのが特徴。水筒を持ち歩くのが一般的ではなかった時代に、飲み物を手軽に持ち歩くスタイル